

## これを聞きたい「除排雪」～第3弾～

長い冬も徐々に終わりに向かい始めるころですが、融雪時期に行っている取り組みについて、Q&A形式でご紹介します。



### ■流れません「雪解け水」



**Q. 暖かくなり始めると、道路に雪解け水がたまる場所があります。どうにかありませんか。**

2月に入り中旬も過ぎるころになると、最高気温が0℃近くになる日が徐々に増え、融雪も進むため、道路上は水たまりになりやすくなります。

本来、道路にたまった雨水や雪解け水は雨水桝へと流れ込みますが、道路脇に堆積された雪山により、冬期間は基本的に埋まっています。雨水桝が露出しておらず水の逃げ道がないため、夜間の冷え込み等により不陸（平らでないこと）の原因ともなります。そのため、

**A. 雨水桝に流れるよう処理しますのでご連絡ください。**

※水たまりは気温の上昇により同時多発的に発生することが多いため、随時作業を行いますがお時間を頂くことがあります。また、この作業は日中の作業となりますのでご理解、ご協力をお願いします。



### ■氷でデコボコに「路面整正」

**Q. 道路が氷でデコボコや段差になっています。車で通りづらいです。**

この時期の道路は、日中気温が上がり融雪が進み、夜間は冷え込みにより凍結するというサイクルを繰り返し徐々にアスファルトが見えてきます。その中で、車が同じところを通行することで「わだち」が発生し氷の段差になったり、そろばんのような玉状の氷が発生し道路がデコボコになったりと、運転しづらい状況になりやすいです。

滝川市では、こうした状況を極力回避するために日頃より圧雪方式ではなく雪を削っていく方式で除雪を行っています。しかしながら、路線の状況等はさまざまであることから、もし発生した場合には

**A. 路面整正等の対応を行いますのでご連絡ください。**

※路面状況や近日中の融雪により改善が予想される場合には、作業を見送る場合がありますのであらかじめご了承ください。

### ■一般交通に支障のないように

除雪のイメージとは少し異なるかもしれませんが、融雪時期の水たまりの解消や氷の段差処理等も除排雪作業の一環として行います。

雪解けが始まる時期ではありますが、近年の気象状況を見ると記録的な大雪があったり降雪が極端に少なかったりと不安定な時期でもあり、屋根雪の落下や凍結路面、大雪には一層の注意が必要です。

市としても路面状況や気象状況を踏まえた除排雪作業に努めているところではありますが、急な降雪や大雪の場合には対応までにお時間を頂くことがあります。

改めてご理解とご協力いただきますようお願いいたします。

※第3弾までに掲載した以外に頂きたいいくつかのお問い合わせについては、次回第4弾にてお答えさせていただく予定です。

